

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 8 月 20 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/20 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	29.8	4.0 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m ³ /h	37.8	7.61 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	36.1	0.23 kPa g	A系： 0.05 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.03 Vol%

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/20 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	29.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	28.2 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	28.0 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	26.2 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	8/15 10:00 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	8/19 16:18 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/20 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

・H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。

4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。

7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。

8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。

- ・H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- ・H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- ・H26/8/12 9:50 サブドレン他水処理施設の設置が一部完了し、本設備において放射性核種の除去能力(トリチウムを除く)を確認する浄化性能確認試験を行うため、サブドレンピットから集水タンクへ地下水の汲み上げを開始していたが、8/16 7:30 地下水の汲み上げ量が予定していた 500 トンに達したことから、汲み上げを停止。
8/20 10:28 その後、準備が完了したことから、サブドレン他浄化設備への通水を開始。なお、通水時間は5時間程度を予定。
- ・H26/8/20～ 今後、設置が計画されている高性能多核種除去設備の除去性能及び吸着材の交換周期等を検証するため、検証試験装置を用いて、実液通水による検証試験を実施。試験期間は3ヶ月程度を予定。
- ・H26/7/29 に発生した当社社員の警報付ポケット線量計(APD)未装着の件については、富岡労働基準監督署からは是正勧告書により是正を勧告された事項に関して、8/18 に是正事項の実施状況を報告。

<是正事項の実施状況(抜粋)>

1. 労働者自身がAPDを着用せずに管理区域に立ち入ることがないように下記事項について周知ならびに実施し、再発防止の徹底を図る。
 - (1) 労働者は、各種装備品を準備した後、管理区域入域前に、APD着用確認の本人確認(セルフチェック)を目視により、確実に行うこと。
 - (2) 労働者は、管理区域入域前に、同一作業により出向する他の労働者とAPD着用確認の相互確認を目視により、確実に行うこと。
[当社監理員ならびに協力企業作業員に対して周知実施:H26/8/1]
2. APD着用確認のための専任監視員が、労働者のAPD着用確認を確実に実施するために、下記事項について周知ならびに実施し、再発防止を図る。
 - (1) 現場出向者(及び専任監視員)に対してAPD確認を受けることの重要性の意識付けを行うこと。
 - ① APD未着用防止対策(専任監視員による目視確認、目視ができない場合は触手での確認)の実施に関する表示物を出口付近に掲示する。
 - ② 専任監視員がAPD着用確認をより確実に実施できるよう、確認エリアの改善策として、確認位置を表示物・停止線等を設けて明確にする。
[当社監理員ならびに受託者に対して周知実施:H26/7/30(口頭)、8/4(文書)]

- ・H26/8/20 11:40 頃 作業を終了した協力企業作業員(男性)が入退域管理棟に向かう途中に体調不良を訴えたことから、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受け、診察の結果、緊急搬送の必要があると診断されたため、同日 12:14 に救急車を要請。なお、当該作業員に身体汚染はない。12:44 に急患移送車にて福島第一原子力発電所を出発し、12:57 に富岡消防署(救急車待機場所)で、救急車に乗り換えて福島労災病院に向かい、14:00 に到着。その後、医師の診断により、突発性熱中症と診断され、点滴の処置を受け回復し帰宅。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。